

令和6年度 田野町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の執行機関として、教育行政に関する基本的方針を教育委員会が決定し、その方針に基づいて教育長及び事務局が専門的・技術的な事務を執行する仕組みであり、教育委員会があらかじめ定めた基本方針に沿って教育行政が適正に執行されているかを、教育委員会自らが事後に点検・評価する必要があります。

平成19年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」改正により、教育委員会は、その管理及び執行の状況については毎年度、自己点検・評価を行い、その結果を公表することが義務づけられました（同法第26条）。また、この点検・評価は、教育行政の基本方針の策定等と同様に、教育委員会の権限に属する事務として教育長に委任することができない（同法第23条第6号）ことになっています。

これらの趣旨に則り、教育委員会においても、教育行政の透明性と説明責任を一層高めることを目的として、自己点検・評価を実施し、その結果を公表することとしています。

〔項目別評価〕

大項目	中項目	小項目	実 績	点検・評価・実績
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	13回	・ 定例会を12回、臨時会を1回開催した。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	3回	・ 地教委連絡会をもって、園・学校訪問及び会議をもって積極的な意見交換及び現場の状況把握に努めた。
	(2) 教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	16回	・ 適宜、情報・意見交換会を開催した。 〔1〕町教育センター運営委員会（2回）、〔2〕教育委員と教育委員会事務局職員との意見交換、〔3〕園・小・中教職員に訓示、〔4〕奨学金審査、〔5〕戦没者慰霊祭、〔6〕子ども子育て支援会議、〔7〕戦没者追悼式、〔8〕みんなの夏祭り〔9〕敬老会〔10〕芸能祭、〔11〕成人式、〔12〕中芸子ども駅伝、〔13〕全国水墨画展オープニングセレモニー、〔14〕安芸地区PTA研究大会、〔15〕産業まつり、〔16〕町内駅伝大会
	(3) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	6回	・ 主に、教育事情に関する情報収集を行った。 〔1〕市町村教育委員会連合会総会研修会、〔2〕安芸郡市市町村教育委員会連絡協議会総会、〔3〕町村教育長会研修会、〔4〕安芸郡市市町村教育委員会連絡協議会研修会（2回）、〔5〕新任教育委員・教育長合同研修〔6〕中芸地区連合音楽祭
	(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	22回	・ こども園・小学校・中学校・高校主催の行事等に参加した。 〔1〕小・中学校入学式、〔2〕認定こども園入園式、〔3〕園・小・中学校学校訪問、〔4〕小学校運動会、〔5〕開かれた学校づくり委員会、〔6〕認定こども園夏まつり、〔7〕中芸地区小学校水泳交歓会、〔8〕中学校吹奏楽部定期演奏会、〔9〕中学校体育祭、〔10〕認定こども園運動会、〔11〕田野中祭、〔12〕中学校駅伝大会、〔13〕園・小・中ふれあい参観日、〔14〕認定こども園発表会、〔15〕小学校学習発表会、〔16〕認定こども園クリスマス会、〔17〕小学校参観日、〔18〕小学校持久走大会、〔19〕中学校卒業式、〔20〕認定こども園卒園式、〔21〕小学校卒業式〔22〕県立高校卒業式
		②所管施設の訪問	1回	・ 中学校茶園の茶摘み等を行った。

大項目	中項目	実績	点検・評価・実績
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の運営に関する一般方針を定めること。		・令和6年度中はなかった。
	(2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること。		・令和6年度中はなかった。
	(3) 教育機関の用に供する財産の取得について、町長に申し出ること。		・令和6年度中はなかった。
	(4) 教育財産の用途を廃止すること。		・令和6年度中はなかった。
	(5) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について町長に意見を申し出ること。	4回	・定例及び臨時議会前に予算・議案等について、町長・副町長と協議を行った。
	(6) 教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事を行うこと。ただし、臨時又は非常勤の職員に係るものを除く。		・令和6年度中はなかった。
	(7) 県費負担教職員の任免その他の進退について内申をすること。		・令和6年度中に内申をすることはなかった。
	(8) 付属機関の委員及びこれに準ずる者を任免及び委嘱又は解職すること。		・令和6年度中に任免及び解職することはなかった。
	(9) 付属機関に対して諮問をすること。		・令和6年度中はなかった。
	(10) 教育委員会規則の制定又は改廃をすること。	2件	・新規制定：令和6年度中はなかった。 ・一部改正：岡御殿・西ノ岡の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正をする規則 田野町外国人青年招致任用規則（前・後半任期用）（国際交流員及び外国語指導助手）の一部改正する規則 ・廃止：令和6年度中はなかった。
	(11) 区域外就学に関する事務を処理すること。	6事例	・6事例（町外から田野町内の教育機関へ3件、田野町から町外の教育機関へ3件）
	(12) 町文化財の指定及びその解除並びに保持者又は保持団体の認定及びその解除を行うこと。		・令和6年度中はなかった。
	(13) 請願又は陳情を処理すること。		・令和6年度中はなかった。
	(14) 重要な事業の計画を策定すること。	2件	・令和7年3月 第3期 子ども子育て支援事業計画を策定した。 ・令和7年3月 小中学校情報機器整備事業にかかる各種計画を策定した。
	(15) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。		・令和6年度中はなかった。
	(16) 重要な表彰を行うこと、及び国又は県等の行う重要な表彰について候補者を推薦すること。		・令和6年度中はなかった。
	(17) 訴訟に関する事務を処理すること。		・令和6年度中はなかった。
	(18) 教科用図書採択に関する事務を処理すること。	1件	・令和7年度以降使用中学校用教科用図書の採択を行った。
	(19) 不服申し立てに関する事務を処理すること。		・令和6年度中はなかった。
	(20) 教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。	1件	・令和6年度9月12日開催の教育委員会定例会において、令和5年度の管理及び執行の点検及び評価を行った。
	(21) 町長の補助機関たる職員若しくは町長の管理に属する行政機関の長に教育委員会の権限に属する事務の一部を委任し、又は補助執行させること。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条		・令和6年度中はなかった。
	(22) 町長の権限に属する事務の一部を教育委員会若しくは教育機関に委任すること又は教育委員会若しくは教育機関の補助機関たる職員に補助執行させることに関する協議に対し同意等すること。 地方自治法第180条の2		・令和6年度中はなかった。

大項目	中項目	小項目	実 績	点検・評価・実績
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育に関すること	①学力の向上を図る教育の充実	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 各調査・検査は計画どおり実施し、結果分析を行ったうえで各学校で学力向上に取り組んだ。 小中学校とともに夏季休業中に学習支援員等を配置して、加力学習を行った。 ALT 2 名、CIR 1 名の 3 名体制で、認定こども園及び小中学校の英語教育に取り組んだ。 ネイティブ外国人との英語コミュニケーション力向上を目的にオンライン英会話を導入開始した。
		②心の教育の推進のための教育の充実	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 小学校、中学校とも関係機関との連携を密にし、情報の共有化を行った。 「放課後子ども教室」 月～金（放課後～17時半） 小学校の空き教室及び旧幼稚園で実施 利用者数 延べ16,060人（田野っ子広場：8,200人、学習教室：7,860人）
		③一貫教育の推進	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 県の教育振興基本計画の三本柱に準じて「知育部会」「徳育部会」「体育部会」を設置し、各部会においてテーマを設定し、情報共有・研修に取り組んだ。だんだんと園小中の教職員の意識が変化し子どもに接する姿勢が変わってきた。現在では、一貫教育は当たり前の手立てであり、その意識が薄れることなく進んでもらいたい。 園小接続事業に引き続き取り組み、認定こども園から小学校の円滑な繋ぎを図った。
		④学校等施設整備の推進	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の特別支援学級が2学級になることに伴い空調設備を増設しました。
		⑤開かれた学校経営の推進	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 田野町立学校における学校運営協議会2回開催した。
		⑥高等学校・大学就学支援	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「貸し出し業務」新規貸し出し5名・継続貸し出し5名計10名への奨学資金貸与事務 「償還業務」22名の償還事務、1名分の滞納整理事務
		⑦給食・食育の充実	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 給食センター運営委員会を2回開催 急激な物価高騰の影響により、令和6年度から1食あたり30円の値上げをすることとした。 毎月、給食費の徴収を行い、滞納等が発生しないよう学校・PTAとの連携強化を図った。 その結果、滞納（PTAの立替を含む）はなかった。
		⑧図書室	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 蔵書数 7,174 入冊数 264 廃棄冊数 438 利用冊数 1年 2,525 2年 2,345 3年 1,844 4年 1,740 5年 2,793 6年 1,852 合計：13,309 読書推進取組 読書郵便：読んだ本の紹介文・絵を作成し、図書室のポストに入れると、図書委員が勧めたい友達に渡す取り組み。 PTA読み聞かせ。 中学校 蔵書数 6,544 入冊数 224 廃棄冊数 318 利用冊数 1年 401 2年 160 3年 84 合計 845 読書推進取組 朝読：毎朝10分間読書をする時間を設けている。学習・図書委員会が、朝礼でお勧めの本の紹介をしている。
		⑨田野町教育センター	<div> <div> <div>実現度！</div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div>→ 重 要 度</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 研究の推進と支援に関する事業（一貫教育推進事業・園小中授業参観等・中芸地区教育研究会・研究用図書資料等の整備） 「田野教育」の発行 教育相談の実施（電話、来所による面談） 教育支援センター運営（ふれあい教室）

大項目	中項目		小項目	実 績	点検・評価・実績
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 社会教育に関すること	①少年活動の充実 「地域教育力の育成」	スポーツ少年団・子ども会活動、学校地域協働本部事業、防犯パトロール、夏休みプール開放	<div> <div>実績度！</div> <div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> </div> <div>→ 重要度</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ少年団」 1団体（空手）が活動中（団員数15名）、野球部の再開に取り組みました。 ・「子ども会」 田野町の代表として中芸地区子ども駅伝大会に出場した。また、地区の子ども会活動を助成することとしました。 ・「夏休みプール開放」 放課後子ども教室の一環として実施した。
		②人権教育の浸透 「人権教育・啓発の推進」	人権教育講演会、啓発パンフレット等設置、地域人権学習	<div> <div>実績度！</div> <div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> </div> <div>→ 重要度</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・田野町人権教育研究協議会 新型コロナウィルス感染症流行以降、組織の実態がなくなり活動未実施。 ・小学校において2回の「人権の花植え」活動を行った。
		③成人等教育活動等の展開 「青年・女性・高齢者教育の充実」	地区青年団活動調査、青年団活動プログラム作成、リーダー育成会、女性教育団体、高齢者教育	<div> <div>実績度！</div> <div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> </div> <div>→ 重要度</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「青年団活動」 令和6年度は活動なし ・「女性団体連絡協議会」 総会、研修活動 6回、田野駅ホーム清掃、町関連事業協力、他 ・「高齢者教育」 令和6年度は活動なし
		④家庭教育活動の推進 「家庭・学校・地域のパートナーシップ醸成」	家庭教育学級、親子共同体験事業、PTA活動	<div> <div>実績度！</div> <div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> </div> <div>→ 重要度</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育学級」 認定こども園で絵本に関する講演会を実施（講師：町立図書館職員）。 ・「家庭教育支援」 夏休み親子キャンプ（親児一泊in清岡道之助旧邸宅）を開催しました。
		⑤生涯学習支援 「施設の利活用機会の充実・サークル活動等の機会の充実と自主運営組織への支援」	英会話教室、生涯学習講座、スポーツクラブ、田野町体育会、町民運動会、町内駅伝	<div> <div>実績度！</div> <div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> </div> <div>→ 重要度</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語ふれあい体験教室」 小学生を対象にALT、CIRが実施。 ・「田野町スポーツクラブ」 ピラティス、リズムミックウォーキングの2教室を開催（延べ823名） ・「田野町体育会」 8クラブ（約90名）※内、スカッシュバレーボール部とバドミントン部（青年）は休部中。 ・「町民運動会」（8地区）、「町内駅伝大会」（子どもの部：12チーム、一般の部：9チーム、95名）
		⑥文化財保護 「文化財保護の推進」	文化財整備・利活用、文化財運営管理計画	<div> <div>実績度！</div> <div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> </div> <div>→ 重要度</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「県指定文化財 岡御殿」（年間入場者数 984人）3/1～3/3まで土佐の町家雛まつり開催 ・「国指定重要文化財 旧森林鉄道施設」は日本遺産事業により活用を図った。 ・中芸5町村合同で、令和5年度より3箇年事業で「文化財保存活用計画」を策定することとなった。
		⑦社会教育施設運営	ふれあいセンター管理運営、図書館管理運営	<div> <div>実績度！</div> <div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> </div> <div>→ 重要度</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「田野町ふれあいセンター」年間1,390件、計21,526名の使用実績。 ・東部では、数少ない公立図書館。小中学校の学校図書館と連携し、読書活動の推進を図った。 蔵書数36,354冊（内訳一般図書21,544冊・児童図書14,810冊）、雑誌845冊、AV資料305本 利用件数3,511件、入館者数12,674名、貸出冊数11,241冊、貸出カード新規登録者数68名（登録人数3,626名）
		⑧文化芸術活動の推進支援	田野町文化協会、夢舞企画、田野全国水墨画展	<div> <div>実績度！</div> <div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> <div></div><div></div><div></div><div></div> </div> <div>→ 重要度</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「田野町文化協会」10/20 芸能祭（142名）、11/21～23 文化展（入場者：360名）の開催。 ・「夢舞企画」2/24 珠玉の名曲コンサート（220人）、原点回帰Live（93人）の開催。 ・「田野全国水墨画展」全国より85名112点の応募があり、入賞者19名を表彰した。展示会開催期間中は約182名の入場者があった。また、本年度も引き続き安田町、北川村と合同で「三町村合同書画展」として連携事業に取り組んだ。

【 総 合 評 価 】

令和6年度は、教育行政の透明性と説明責任を重視し、教育委員会としての合議機能を十分に発揮した。定例会12回、臨時会1回を開催し、各種事業の進捗状況や認定こども園・小・中学校の運営、社会教育施設の管理状況等について審議・確認を行った。また、町長・副町長との連携を密にし、教育行政と町政全体の方向性を共有しながら円滑な事務執行に努めた。

学校教育では、知育・徳育・体育の3部会からなる一貫教育の推進体制を継続し、園・小・中の連携による教育活動の充実を図った。学習支援員や特別支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの特性に応じた支援を行うとともに、教員多忙化解消支援員の活用により、授業準備や図書館整備など教職員の負担軽減を図った。また、学校教材費の口座振替を令和6年度2学期より開始しました。その他、学力向上を目指す取組についても、学期ごとに学校経営計画の進捗確認を行い、教育委員が学校現場と意見交換を重ねた。

給食センター運営では、食材費や光熱費の高騰を踏まえ、1食あたり30円の値上げを実施したが、学校やPTAとの連携により滞納は発生せず、安定した運営を維持した。衛生講習会の開催や施設改修も行い、安全で安心な給食提供体制を確立した。

図書館運営では、読書活動の推進としておはなし会や読書ポイントラリー、親子読書講座等を実施し、子どもたちの読書意欲を高めた。蔵書点検やブックスタート事業なども継続し、地域に開かれた図書館運営を進めた。年間入館者は約1万2千人、貸出冊数は1万冊を超え、利用状況は安定している。

社会体育・生涯学習分野では、コロナ禍後の活動が本格的に再開された。町民運動会や町内駅伝大会、卓球・バレーボール大会等を開催し、地域の交流と健康増進を図った。スポーツ少年団では空手部が継続して活動し、野球部再開への支援も行った。また、スポーツクラブではリズムミックウォーキングやピラティス教室を開催し、町民の運動習慣づくりに貢献した。

文化分野では、田野全国水墨画展を開催し、全国85名から112点の出品があり、表彰式を含むオープニングセレモニーを実施し、文化協会による芸能祭・文化展では延べ500名を超える来場者を得るなど、地域文化活動が活発化した。ふれあいセンターの利用件数は年間1,390件、21,500名を超え、地域の学習・文化活動拠点として定着している。

文化財行政では、中芸5町村合同による文化財保存活用計画の策定作業を継続し、岡御殿の適切な管理とイベント開催を行った。老朽化が進む施設については、計画的な修繕と維持管理に努めている。

子ども・子育て支援分野では、第3期子ども・子育て支援事業計画を策定し、パブリックコメントを経て次期計画を確定した。こども園においては広域入所への対応を含め、トラブルなく運営を行い、絵本講座や親子キャンプなど家庭教育支援事業も実施した。

総じて、令和6年度は教育・文化・スポーツ・社会教育の各分野において、計画的かつ着実な事業実施が行われ、教育行政全体の推進に成果が見られた。一方で、児童生徒数や地域団体構成員の減少、施設老朽化といった課題も明確となっており、今後は若年層の参画促進、人材育成、施設維持更新を重点に、持続可能な教育行政体制の構築が求められる。